

施策マネジメントシート（令和 5 年度目標達成度評価）

第2次 総合計画 体系	政策 No.	9	政策名	市民みんなが観光ガイド!ひとがひとを呼ぶまち	
	施策 No.	1	施策名	情報発信の充実	
施策主管課			総合戦略課	施策関係課名	議会議務局・総合戦略課・企画政策課

1 施策の目的（①対象③意図）と指標（②対象指標④成果指標）等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)			③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)					
A.市民 B.市外の人			A.必要な情報をいつでも、どこでも入手できる B.小城市を知ってもらう					
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	成果指標の達成状況及び要因
1	自分が知りたい市に関する情報を容易に知ることができている市民の割合	%	目標値	67.0	68.0	69.0	70.0	1) 達成。「自分が知りたい市に関する情報を容易に知ることができている市民の割合」は上昇傾向で推移しており、令和5年度実績値は69.9%と目標値の68.0%を上回り、過去最高値で目標を達成することが出来た。特に情報配信アプリ「OgiOgi」のダウンロード数は前年比で約1.5倍(R4:3,869件、R5:5,556件)となっており、市民の情報入手手段としてSNSの活用の定着化が図られているものと推測できる。 2) 達成。コロナの5類移行に伴う行動制限の緩和や段階的なイベントの開催等により上昇傾向で推移できているものと推測できる。一方で、温暖化による近年の猛暑等の影響による外出控えの動きもあり、引き続きSNS等を活用した魅力の発信などを検討していく必要がある。
			実績値	66.3	69.9	69.9	69.9	
			達成率	99.0%	102.8%	101.4%	101.4%	
2	小城市の魅力を市外の人に伝えたことがある市民の割合	%	目標値	29.0	30.0	31.0	32.0	
			実績値	31.5	31.9	31.9	31.9	
			達成率	108.6%	106.3%	102.9%	102.9%	
3			目標値					
			実績値					
			達成率					
4			目標値					
			実績値					
			達成率					
5			目標値					
			実績値					
			達成率					

2 施策（基本事業）の振り返り

基本事業	(施策の目標達成に向けて、どのように取り組んだか。)
わかりやすい情報発信の充実	・市が取り組む事業や市民活動団体も含めた行事等を広く市民に伝え、市政やまちづくりに対する理解を深めるとともに市民参加のまちづくりを促す一助とするため、広報「さくら」を全世帯に発行した。(月1回/毎月20日発行) ・市議会の活動内容を市民に広く知ってもらうため、「おぎ市議会だより」を全世帯に発行した。(年4回)
多様な情報発信環境の充実	・市からのお知らせや情報を正確かつ速やかに発信できるよう、ホームページ、SNS、情報アプリOgiOgi等を活用し、随時、最新の情報を提供できるよう努めている。 ・市報や議会広報紙については、記事へ二次元コードを掲載し、詳細については市ホームページから閲覧できるよう工夫するなど、多様な情報発信手段の充実を図った。 ・議会中継(ライブ中継・録画中継)においては、インターネット配信やケーブルテレビでの放映を行った。
地域の魅力発信の推進	・小城市の歴史や観光地などを「おぎまんが」により、方言を交え、絵で伝えることで、地域の魅力をわかりやすく発信している。 ・VRツアーやおぎツクール、おぎぶら、おぎめし等の動画コンテンツを制作し、メディアやSNSを通じて、地域の魅力を市内外に発信しており、「おぎツクール」は令和5年全国広報コンクールにおいて、佐賀県内で唯一の受賞を果たした。また、「おぎスナップ」と題し、普段の何気ない小城市の風景を切り取った写真をSNS等で発信した。

3 施策の課題（基本計画で掲げた施策の「現況と課題」、成果指標の達成状況を踏まえて、次年度以降に向けた施策の課題）

様々な媒体を活用し、多様な情報発信環境の充実を図っているが、市に関する知りたい情報を容易に知ることができる市民の割合は7割程度に留まっている。また、定期的に小城市の情報や魅力等を、動画配信やSNS等により発信しているが、視聴・閲覧回数が伸び悩んでいる。 まずは、様々な情報収集手段があることを認知してもらうとともに、幅広い年代に対応した発信方法、広報・プロモーション手段を検討していく必要がある。

4 今後の取り組み（課題解決に向けた今後の取り組みの方向性・内容等）

市報、ホームページ、SNS等での情報発信や「おぎツクール」などの動画配信等の取り組みは継続し、今後展開を予定しているLINE機能拡張システム等を活用しながら、市が発信する情報の収集手段の認知度向上に努める。 また、専門的知識を有する人材の発掘と雇用にチャレンジし、新たな魅力の掘り起こしとプロモーション手段の検討を行うなど、新たな視点から学びあいが出来る環境づくりを行う。
